

作成年月日：令和 8 年 4 月 24 日											
総合工科高等学校 令和8年度 1 学年 年間授業計画											
教科 工業		科目	工業技術基礎		単位数	3 単位	対象学年組		第 1 学年 3 組 ～ 4 組		
組教科担当		1 組	2 組		3 組	小栗・鈴木・佐藤		4 組	小栗・鈴木・吉澤		
使用教科書		工業技術基礎									
教科の目標		工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ，工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけるために必要な能力・資質を(1)～(3)のとおり育成することを目指す。									
【 知 】		工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ，工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。									
【思】		工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして，広い視野からみずから思考し，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し，その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。									
【学】		工業技術について主体的に興味・関心を持ち，その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに， 社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。									
科目の目標											
【知】			【思】				【学】				
工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ，工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。			工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして，広い視野からみずから思考し，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し，その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。				工業技術について主体的に興味・関心を持ち，その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに， 社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。				
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容			評価規準		知	思	学	配当時間
1 学期	A 単元（製図） 【知】基礎製図において正確な図面の作成に関する知識と技能を学習させる。 【思】図面を作成する表現手法を身につけさせる。 【学】図面の見方や表しかたやかきかたに主体的に興味・関心を持ち，正確な図面の作成について考えさせる。		・指導事項 図面の表し方 文字、線の練習、木造平屋建て平面図 ・教材 一人 1 台端末の活用など 工業技術基礎教科書			・基礎製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたを理解し，正確な図面の作成に関する知識と技能を身につけている。 ・基礎製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたについて，適切に思考・判断し，正確な図面を作成する表現手法を身につけている。 ・基礎製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたに主体的に興味・関心を持ち，正確な図面の作成に意欲的に取り組む態度を身につけている。		1	1	1	13
	B 単元（測量） 【知】実践的な距離・水準測量技術の知識を理解させる。 【思】距離・水準測量において，さまざまな条件や環境における測量方法を学習させる。 【学】測量について関心を持ち，意欲的な測量器械の活用について考えさせる。		・指導事項 測量について学ぼう 距離・水準測量 ・教材 一人 1 台端末の活用など 工業技術基礎教科書			・実践的な距離・水準測量技術の知識を習得し，測量実習を行うことによりその技能を習得して，日常生活の中での測量の意義や役割を身につけている。 ・距離・水準測量に関する基礎的な技術について，適切に思考・判断し，さまざまな条件や環境における測量方法を選択し，表現することができる。 ・主体的に測量に関する基礎的な技術について関心を持ち，意欲的に測量器械を活用する創造的，実践的な態度を身につけている。		1	1	1	13
	C 単元（施工） 【知】木構造の骨組みに関する基礎的な知識を身に付け,その製作順序や製作方法などを理解させる。 【思】木構造の骨組みに関する製作について作品を表現する能力を身に着けさせる。 【学】木構造の骨組みに関する基礎的な知識を身に付け,その製作順序や製作方法などを学習させる。		・指導事項 木構造の骨組みを学ぶ 木造軸組み製作 ・教材 一人 1 台端末の活用など 工業技術基礎教科書			・木構造の骨組みに関する基礎的な知識を身に付け,その製作順序や製作方法などの基本的な技能を身につけている。また、レポート提出の期限を守れる。 ・木構造の骨組みに関する製作について思考・判断し,完成度の高い作品を表現する能力が身に付いている。またレポートの作成能力も身につけている。 ・木構造の骨組みに関する基礎的な知識を主体的に身に付け,その製作について意欲的に取り組む態度を身につけている。		1	1	1	13
2・3 学期	D 単元（製図） 【知】製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたを理解させる。 【思】製図における基本的な図面の見方や表しかたを考えさせる。		・指導事項 建築・土木に関する図面の模写 ・教材 一人 1 台端末の活用など 工業技術基礎教科書			・製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたを理解し，正確な図面の作成に関する知識と技能を身につけている。 ・製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたについて，適切に思考・判断し，正確な図面を作成する表現手法を身につけている。 ・製図における基本的な図面の見方や表しかたや		1	1	1	22

	【学】製図における基本的な図面の見方や表しかたやかきかたを学習させる。		かきかたに主体的に興味・関心を持ち, 正確な図面の作成に意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	E 単元（測量） 【知】実践的な角測量技術の知識を習得し, 測量実習を行うことによりその技能を習得して, 日常生活の中での測量の意義や役割を理解させる。 【思】角測量に関する基礎的な技術について, 適切に思考・判断し, さまざまな条件や環境における測量方法を考えさせる。 【学】主体的に測量に関する基礎的な技術について関心を持ち, 意欲的に測量器械を活用について学習させる。	・指導事項 測量について学ぼう 角測量 ・教材 一人1台端末の活用など 工業技術基礎教科書	・実践的な角測量技術の知識を習得し, 測量実習を行うことによりその技能を習得して, 日常生活の中での測量の意義や役割を身につけている。 ・角測量に関する基礎的な技術について, 適切に思考・判断し, さまざまな条件や環境における測量方法を選択し, 表現することができる。 ・主体的に測量に関する基礎的な技術について関心を持ち, 意欲的に測量器械を活用する創造的, 実践的な態度を身につけている。	1	1	1	22
	F 単元（施工） 【知】仮設足場に関する基礎的な知識を身に付け, その製作順序や製作方法などを理解させる。 【思】仮設足場に関する製作について安全な作業について考えさせる。 【学】仮設足場に関する基礎的な知識を主体的に身に付け, その製作について意欲的に学習させる。	・指導事項 仮設足場（単管）の組立・解体 ・教材 一人1台端末の活用など 工業技術基礎教科書	・仮設足場に関する基礎的な知識を身に付け, その製作順序や製作方法などの基本的な技能を身につけている。また、レポート提出の期限を守れる。 ・仮設足場に関する製作について思考・判断し, 完成度の高い作品を表現する能力が身に付いている。またレポートの作成能力も身につけている。 ・仮設足場に関する基礎的な知識を主体的に身に付け, その製作について意欲的に取り組む態度を身につけている。	1	1	1	22

総合工科 高等学校 令和 8 年度 教科

教 科：工業 科 目：課題研究

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（4 組：吉澤・丸山・佐藤）

使用教科書：（ ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】 工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術を身につける。	工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・2 学期	単元（施工） 【知識及び技能】 学校設備の補修、改修工事を通して仕上げなどの塗装工事の基本的な知識、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学校設備の補修、改修工事を通して仕上げなどの塗装工事の基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学校設備の補修、改修工事を通して専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ト ・一人 1 台端末の活用	単元（施工） 【知識及び技能】 学校設備の補修、改修工事を通して仕上げなどの塗装工事の基本的な知識、技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 学校設備の補修、改修工事を通して仕上げなどの塗装工事の基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 学校設備の補修、改修工事を通して専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につけている。	○	○	○	90
	単元（設計） 【知識及び技能】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。		単元（設計） 【知識及び技能】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 設計コンペを通して図面表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につけている。				
	単元（模型） 【知識及び技能】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。		単元（模型） 【知識及び技能】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 模型製作を通して空間表現、プレゼンテーションの基本的な知識、技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につけている。				

3 学 期	単元（施工）（設計）（模型） 【知識及び技能】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ・一人1台端末の活用	単元（施工）（設計）（模型） 【知識及び技能】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの基本的な知識、技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの基本的な知識、技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究の発表を通してプレゼンテーションの専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につけている。	○	○	○	15
							合計
							70

総合工科 高等学校 令和8年度 教科

教科：工業 科目：実習

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（4組：吉澤・丸山・鈴木）

使用教科書：（建築実習1・2

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	建築に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	建築について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元（施工） 【知識及び技能】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業をする。 【思考力、判断力、表現力等】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業方法を選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業方法を積極的に行う。 単元（点検・管理） 【知識及び技能】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性に関して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性について積極的に学ぶ。 単元（造形） 【知識及び技能】 マインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 マインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 マインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを積極的に行う。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習1・2 ・一人1台端末の活用	単元（施工） 【知識及び技能】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業方法を選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 桝組足場の組立て、解体を通して工具の使い方や安全な作業方法を積極的に行うことができる。 単元（点検・管理） 【知識及び技能】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性に関して考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 コンクリートの材料実験を通して建物を構成する躯体材料の強度や耐久性について積極的に学んでいる。 単元（造形） 【知識及び技能】 BIMやマインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 BIMやマインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 BIMやマインクラフト、ドローンなどを用い、先端技術を活用した図面の表現やプログラミングを積極的に行うことができる。	○	○	○	35

総合工科 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 工業 科目 実習

教 科： 工業 科 目： 実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

教科担当者：（4 組： 鈴木・丸山・吉澤）

使用教科書：（ 建築実習 1・2 ）

教科 工業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	建築に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	建築について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元（木造） 【知識及び技能】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工に関する知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工について考えさせる。 単元（ＲＣ） 【知識及び技能】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工に関する知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工について考えさせる。 単元（造形） 【知識及び技能】 造形において住宅模型に関する知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形において住宅模型の作成について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 造形において住宅模型の作成について考えさせる。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・一人 1 台端末の活用	単元（木造） 【知識及び技能】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工に関する知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 木造の軒先マワリの加工において安全で正確な加工について考えることができる。 単元（ＲＣ） 【知識及び技能】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工に関する知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ＲＣの鉄筋加工において安全で正確な材料の加工について考えることができる。 単元（造形） 【知識及び技能】 造形において住宅模型に関する知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 造形において住宅模型の作成について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 造形において住宅模型の作成について考えることができる。	○	○	○	39

2・3 学期	単元（木造） 【知識及び技能】 木造の水盛遣方・建て方において安全で正確な加工に関する知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 木造の水盛遣方・建て方において安全で正確な加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 木造の水盛遣方・建て方において安全で正確な加工について考えさせる。 単元（RC） 【知識及び技能】 鉄筋・型枠の組立についての知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋・型枠の組立について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋・型枠の組立について考えさせる。 単元（造形） 【知識及び技能】 パースに関する知識と技能を学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 パースの表現方法について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 パースの描き方について主体的に興味・関心を持ち、正確な図面の作成について考えさせる。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・一人1台端末の活用	単元（木造） 【知識及び技能】 木造の水盛遣方・建て方において安全で正確な加工に関する知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 木造の水盛遣方・建て方において安全で正確な加工について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 木造の水盛遣方・建て方について主体的に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む態度を身につけている。 単元（RC） 【知識及び技能】 鉄筋・型枠の組立についての知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋・型枠の組立について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋・型枠の組立について主体的に興味・関心を持ち、正確な図面の作成について考えている。 単元（造形） 【知識及び技能】 パースに関する知識と技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 パースの表現方法について自ら思考し、知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 パースの描き方について主体的に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	66
							合計
							105

総合工科 高等学校 令和 8 年度 教科

工業

科目 実習（選択）

教 科：工業

科 目：実習（選択）

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（4 組：吉澤・丸山）

使用教科書：（ 建築実習 1・2 ）

教科 工業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 実習（選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	建築に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	建築について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・2 学期	単元 施工 【知識及び技能】 木工作業を通じて施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、丁寧な作業を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、積極的に丁寧な作業を行う。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・一人 1 台端末の活用	単元 模型・施工 【知識及び技能】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、丁寧な作業を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、積極的に丁寧な作業を行うことができる。	○	○	○	55

3 学 期	単元 施工 【知識及び技能】 木工作業を通じて施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、丁寧な作業を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、積極的に丁寧な作業を行う。	・指導事項 ・教材:教科書 建築実習 1・2 ・一人 1 台端末の活用	単元 模型・施工 【知識及び技能】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、丁寧な作業を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 木工作業を通して施工実習における工具の使い方、様々な表現方法を理解し、積極的に丁寧な作業を行うことができる。	○	○	○	15
							合計
							70

総合工科 高等学校 令和8年度（3学年用）教科

科目 製図

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法での確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につける。

[illegible]

総合工科 高等学校 令和8年度 教科

工業 科目 製図（選択）

教科：工業 科目：製図

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 4組

教科担当者：（4組：佐藤裕）

使用教科書：（建築設計製図 実教出版）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 製図（選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1・2 学期	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ・ネットワーク工程表の作成、建築工事標準仕様書を読む ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	55
3 学期	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ・電気配線図の読み方・作成、建築確認申請書の見かた・作成 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	15
							合計
							70

総合工科 高等学校 令和 8 年度 教科

工業 科目 建築構造（選択）

教 科：工業 科 目：建築構造（選択）

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（4 組：佐藤裕）

使用教科書：（7 実教 7 1 4 建築構造

）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 建築構造（選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第2章 木構造 【知識及び技能】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解することができる、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解し、適切に表現でき、建築系資格試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解しようとし、粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第1章 木構造 1 構造の特徴と構造形式 2 木材 3 木材の接合 4 基礎 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【【知識及び技能】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解することができ、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解し、適切に表現でき、建築系資格試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解しようとし、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査						1
2 学 期	単元 第3章 鉄筋コンクリート造 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第3章 鉄筋コンクリート構造 1 構造の特徴と構造形式 2 鉄筋 3 コンクリート ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	○		○	12
	定期考査						1
	単元 第3章 鉄筋コンクリート造 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第3章 鉄筋コンクリート構造 4 躯体 5 基礎 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	○		○	12

	粘り強く取り組もうとしている。						
	定期考査						1
3 学 期	単元 第4章 鋼構造 【知識及び技能】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料をを理解でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料をを理解することができる。	・指導事項 第4章 鋼構造 1 構造の特徴と構造形式 2 鋼と鋼材 3 鋼材の接合 4 基礎と柱脚 5 骨組み ・教材: 教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料を理解でき、建築系資格学科試験を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料をを理解でき、建築系資格学科試験を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鋼構造のうち構造形式や鋼構造に用いられる建築材料をを理解することができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

総合工科	高等学校	令和8年度（2学年用）	教科	工業	科目	建築構造
教科：工業			科目：建築構造	単位数：2	単位	
対象学年組：第 2 学年 4 組						
教科担当者：（4組：鈴木 ）						
使用教科書：（ 建築構造 実教出版 ）						
教科 工業	の目標：					

【知識及び技能】	工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
【学びに向かう力、人間性等】	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 建築構造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考、判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら建てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第1章 建築構造のあらまし 【知識及び技能】 ・建築構造の歴史的発達、成り立ち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規準に関する基礎的な知識を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築構造の歴史的発達、成り立ち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規準に関する知識を適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築構造の歴史的発達、成り立ち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規準に関する基礎的な知識の習得に向けて粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第1章 建築構造のあらまし 1 建築構造の歴史的発達 2 建築構造のなりたち 3 建築構造の分類 4 建築構造に働く力 5 関連する法規と規準 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・建築構造の歴史的発達、成り立ち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規準に関する基礎的な知識を身につけ、身近な今日の建築物や歴史的建築物の観察し、これらが関わる社会的環境や意義について理解するとともに建築物の持つ特徴を活用することを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な今日の建築物や歴史的建築物の観察し、それぞれのなりたち分類、働く力、関連する法規や規準について思考・判断できる能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築構造の歴史的発達、成り立ち、分類、建築物に働く力、関連する法規や規準に関する基礎的な知識の習得に向け粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	12
	単元 第2章 木構造 【知識及び技能】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解しようとし、粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第1章 木構造 1 構造の特徴と構造形式 2 木材 3 木材の接合 4 基礎 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・木構造のうち構造形式や木材の構造、接合方法、基礎を理解しようとし、粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2	単元 第3章 鉄筋コンクリート造 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第3章 鉄筋コンクリート構造 1 構造の特徴と構造形式 2 鉄筋 3 コンクリート ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	12

2 学 期	定期考査			○	○		1
	単元 第3章 鉄筋コンクリート造 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第3章 鉄筋コンクリート構造 4 躯体 5 基礎 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 第3章 鉄筋コンクリート造 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組もうとしている。	・指導事項 第3章 鉄筋コンクリート構造 4 躯体 5 基礎 ・教材:教科書 建築構造 副教材 建築構造演習ノート 補助教材 2級建築施工管理技士 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造のうち構造形式や鉄筋コンクリートに用いられる建築材料の知識を習得するために粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	17
				○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

総合工科 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 工業 科目 建築計画

教 科： 工業 科 目： 建築計画 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（ 丸山 ）

使用教科書：（ 建築計画 実教出版 ）

教科 工業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 建築計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築と環境、住宅の計画、各種建築物の計画、都市と地域の計画、建築設備の計画、建築の移り変わりなどに関する基本的な知識と技術を得し、建築物を合理的かつ創造的に計画する力を身につけている。	建築物の計画に関する課題を見いだし、各分野の知識・技術を活用して、科学的な根拠に基づき思考・判断し、その解決策を的確に表現する能力を身につけている。	建築計画の各分野に興味・関心をもち、環境に配慮した安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第1章 建築と環境 【知識及び技能】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第1章 建築と環境 1 建築と環境の概要 2 屋外環境と室内環境 3 換気と通風 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風などに関心をもち、必要換気回数の計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 第1章 建築と環境 【知識及び技能】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第1章 建築と環境 4 伝熱と結露 5 日照と日射 6 採光と照明 7 色彩 8 音響 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、結露防止や熱貫流率の計算方法や日影図の作成方法などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心をもち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 第2章 住宅の計画 【知識及び技能】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第2章 住宅の計画 1 住宅の意義 2 住宅計画の進め方 3 全体計画 4 各部の計画 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心をもち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方のほか、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方に関心をもち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12

2 学 期	定期考査			○	○		1
	単元 第2章 住宅の計画 【知識及び技能】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第2章 住宅の計画 3 全体計画 4 各部の計画 5 バリアフリーとユニバーサルデザイン ・教材: 教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法に関心をもち、実践的な計画の進め方の理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 第3章 各種建築物の計画 【知識及び技能】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画 4 各種建築物の安全計画 ・教材: 教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類に関心をもち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 様式例

総合工科 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 工業 科目 建築計画

教 科： 工業 科 目： 建築計画 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

教科担当者：（4組： 吉澤 ）

使用教科書：（ 建築計画 実教出版 ）

教科 工業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 建築計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築と環境、住宅の計画、各種建築物の計画、都市と地域の計画、建築設備の計画、建築の移り変わりなどに関する基本的な知識と技術を得し、建築物を合理的かつ創造的に計画する力を身につけている。	建築物の計画に関する課題を見だし、各分野の知識・技術を活用して、科学的な根拠に基づき思考・判断し、その解決策を的確に表現する能力を身につけている。	建築計画の各分野に興味・関心をもち、環境に配慮した安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第1章 建築と環境 【知識及び技能】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第1章 建築と環境 1 建築と環境の概要 2 屋外環境と室内環境 3 換気と通風 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風の基本的な事項、必要換気回数の計算方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物を取りまく環境をはじめ、日本の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風などに関心をもち、必要換気回数の計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 第1章 建築と環境 【知識及び技能】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第1章 建築と環境 4 伝熱と結露 5 日照と日射 6 採光と照明 7 色彩 8 音響 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、結露防止や熱貫流率の計算方法や日影図の作成方法などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心をもち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 第2章 住宅の計画 【知識及び技能】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第2章 住宅の計画 1 住宅の意義 2 住宅計画の進め方 3 全体計画 4 各部の計画 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心をもち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方のほか、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅計画の進め方に関心をもち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12

2 学 期	定期考査			○	○		1
	単元 第2章 住宅の計画 【知識及び技能】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・独立住宅の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面計画などの留意事項を示し、設計への具体化について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第2章 住宅の計画 3 全体計画 4 各部の計画 5 バリアフリーとユニバーサルデザイン ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法、実践的な計画の進め方について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・独立住宅の計画の順序をはじめ、エスキスや図面の表現方法に関心をもち、実践的な計画の進め方の理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 第3章 各種建築物の計画 【知識及び技能】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準について思考・判断し、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バリアフリーやユニバーサルデザインについての基本的な事項とバリアフリー住宅の計画上の基準について主体的に学習に取り組む。	・指導事項 第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画 4 各種建築物の安全計画 ・教材:教科書 建築計画 副教材 建築計画演習ノート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類に関心をもち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科		工業	科目	建築構造設計
教 科：	工業	科 目：	建築構造設計	単位数： 1 単位
対象学年組：第 2 学年 4 組				
教科担当者：（丸山・吉澤）				
使用教科書：（ 建築構造設計 実教出版 ）				
教科 工業	の目標：			
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。			
【思考力、判断力、表現力等】	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。			
【学びに向かう力、人間性等】	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、 社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。			

科目 建築構造設計	の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
構造物の設計について構造物の安全性を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	構造物に関する力学的な課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	安全で安心な構造物を設計する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 構造物に働く力 1. 建築物に働く力 2. 力の基本 3. 構造物と荷重および外力 【知識及び技能】 建築物にさまざまな影響を与える荷重と外力に関する基本的な内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の構造物を構造設計するうえで必要な力学上の仮定や設定について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある建築物を注意深く観察させ、建築物の力の流れが力学的にどのような特徴があるか直感的に判断・表現させる。	・指導事項 第1章 構造物に働く力 1. 建築物に働く力 2. 力の基本 3. 構造物と荷重および外力 ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 建築物に働く力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物の力学的な特性に着目する。 【学びに向かう力、人間性等】 力の流れが力学的にどのような状態にあるか直感的に判断・表現させる。	○	○	○	3
	4. 反力 5. 安定・静定 【知識及び技能】 反力は、外力と支点の生じる力の釣合条件から求められることを理解させ、その求め方を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 反力の求め方に関する課題を見いだすとともに解決策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 単純梁と片持梁の簡単な課題により支点と反力の関係を感覚的に理解させる。	・指導事項 第1章 構造物に働く力 4. 反力 5. 安定・静定 ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 反力は、外力と支点の生じる力の釣合条件から求められることを理解させ、その求め方を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 反力の求め方に関する課題を見いだすとともに解決策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 単純梁と片持梁の簡単な課題により支点と反力の関係を感覚的に理解させる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第2章 静定構造物の部材に生じる力 1. 建築物に生じる力 2. 静定梁 【知識及び技能】 静定構造物に働く力について力のつり合い条件や応力を踏まえて理解しているとともに、図に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物の力学的な特性に着目して、構造物に働く力に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 【学びに向かう力、人間性等】 静定構造物に働く力について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 第2章 静定構造物の部材に生じる力 1. 建築物に生じる力 2. 静定梁 ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 部材に生じる力（軸方向力・せん断力・曲げモーメント）の種類を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物に働く力と部材に生じる力は釣り合うことを把握させ、力の釣合条件から部材に生じる力を求められることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 変形を感覚（視覚）的に把握させ部材に生じる力とその種類を考察させる。 部材に生じる力の図は、関数とグラフの関係に基づいていることを考察させる。	○	○	○	6

	3. 静定ラーメン 【知識及び技能】 ラーメンの解法を理解しているとともに、算式解法により部材に生じる力を求め、その結果を図で表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力の釣合条件を考え、ラーメンの解法に関する課題を見いだすとともに解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ラーメンの解法について関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・指導事項 3. 静定ラーメン ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 静定ラーメンの解き方を理解させ、軸方向力図・せん断力図および曲げモーメント図の求め方および表し方を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 反力の求め方に関する課題を見いだすとともに解決策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 単純梁と片持梁の簡単な課題により支点と反力の関係を感覚的に理解させる。	○	○	○	6	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	第2章 静定構造物の部材に生じる力 4. 静定トラス 第3章 部材の性質と応力度 【知識及び技能】 断面一次モーメント、断面二次モーメント、断面係数、断面二次半径および断面の主軸を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 部材断面に生じる力と変形の関係に関する課題を見いだすとともに解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 部材の設計について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 第2章 静定構造物の部材に生じる力 4. 静定トラス 第3章 部材の性質と応力度 ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 曲げ材、引長材および圧縮材の断面に生じる応力度を求められるようにし、その安全性について検討できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 部材の設計について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 部材の設計について自ら学び、安全で安心な構造物の設計に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
	3. 静定ラーメン 【知識及び技能】 ラーメンの解法を理解しているとともに、算式解法により部材に生じる力を求め、その結果を図で表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力の釣合条件を考え、ラーメンの解法に関する課題を見いだすとともに解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ラーメンの解法について関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・指導事項 3. 静定ラーメン ・教材:教科書 建築構造設計 副教材 基礎から学ぶ 建築構造設計 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 静定ラーメンの解き方を理解させ、軸方向力図・せん断力図および曲げモーメント図の求め方および表し方を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 反力の求め方に関する課題を見いだすとともに解決策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 単純梁と片持梁の簡単な課題により支点と反力の関係を感覚的に理解させる。	○	○	○	6	
		定期考査			○	○		1
								合計
							35	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科		工業	科目	建築法規
教科：	工業	科目：	建築法規	単位数： 1 単位
対象学年組：第 3 学年 4 組				
教科担当：丸山				
使用教科書：（ 建築法規 実教出版・建築基準法令集 ）				
教科 工業 の目標：				
【知識及び技能】		工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。		
【思考力、判断力、表現力等】		工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。		
【学びに向かう力、人間性等】		工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、 社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。		

科目 建築法規		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに、建築法規のもつ意義や効果を理解している。	都市生活における安全や生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規のもつ役割について、自らの思考を深める。	建築物や都市生活の安全性、良好な都市環境を保つ観点などから、建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 構造物に働く力 【知識及び技能】 一般的な工業製品に対する建築物の特異性から、建築基準法の必要性や効果・意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 時々の社会の変化に応じた建築法規の役割やあり方について思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 今日の建築基準法に至るまでの歴史的返還に関心を持ち、その背景の理解に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 第1章 建築法規のあらまし 1. 建築法規の起源 2. 建築法規の意義 3. 法規の体系と建築基準法の構成 4. 建築基準法の基本用語 ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 基本的な用語の定義や面積・高さ・階数の算定方法を、実際の事例に応じて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 用語の定義や面積・高さ・階数等の算定基準の重要性や背景について思考し、事例に応じて基準の適用を判断する能力を身につけ、建築の計画や設計に的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 法規の体系と成り立ちに関心を持ち、建築基準法の構成に照らして、実践的な学習に役立てようとしている。	○	○	○	3
	第2章 個々の建築物にかかわる規定 【知識及び技能】 居室の採光と換気、天井と床高に関する規定と算定方法を、実際の事例に応じて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 建築計画や設計とのかかわりについて思考し、事例に応じた算定能力を身につけ、建築の計画や設計に的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 規定の背景や諸問題に関心を持ち、建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・指導事項 第2章 個々の建築物にかかわる規定 1. 一般構造・建築設備についての規定 2. 構造強度についての規定 ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制について理解し、事例に応じた設計に活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物の構造や規模と構造計画や計算方法のかかわりなどについて思考し、事例に応じて構造基準の適用を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構造計画・設計のプロセスと構造計算の必要性や方法などについて関心をもち、建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 良好な都市環境をつくるための規定 【知識及び技能】 都市計画法に基づく建築基準法の集団規定のしくみと意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 都市計画法に基づく建築基準法の集団規定の必要性や効果について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 都市計画法に基づく建築基準法による集団規定の目的や背景などに関心をもち、意欲的に学習している。	・指導事項 第3章 良好な都市環境をつくるための規定 1 都市計画法と建築基準法 2 土地利用 3 道路と敷地 ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 都市計画で指定される区域、地域地区における用途規制・構造規制について理解し、事例に応じた設計に活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 都市計画で指定される区域、地域地区の目的や都市環境とのかかわりや効果などについて思考を深め、建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 都市計画で指定される区域や地域地区について、土地利用の観点から目的や背景に関心をもち、建築の計画や設計などの学習に役立てようとしている。	○	○	○	6

3 学 期	【知識及び技能】 用途地域と連動する密度規定の成り立ちと効果を理解し、建蔽率や容積率の計算能力を身につけ、建築の計画や設計に的確に活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 建蔽率や容積率による市街地の密度の規制と都市環境とのかかわりや効果などについて思考し、事例に応じて規定の適用を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 都市環境と建築物の密度の規制とのかかわりや、密度規定の目的・背景などについて関心をもち、建築の計画や設計などの学習に役立てようとしている。 定期考査	・指導事項 4 密度に関する規定 5 形態に関する規定 6 良好なまちづくり ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 用途地域と連動する各種高さ制限や日影規制などの形態規定の成り立ちと効果を理解し、実際の事例に応じた算定能力を身につけ、建築の計画や設計に活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種高さ制限などの形態の規制と都市環境とのかかわりや効果などについて思考し、事例に応じて規定の適用を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 都市環境と建築物の形態の規制とのかかわりや、その目的・背景などについて関心をもち、建築の計画や設計などの学習に役立てようとしている。	○	○	○	6
				○	○		1
	【知識及び技能】 建築生産の段階に応じて定められる建築基準法上の手続きの流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 建築基準法に基づく主要な手続きのプロセスと建築生産とのかかわりについて思考を深め、建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 建築基準法に基づく手続きのしくみについて 関心をもち、建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・指導事項 第4章 手続きなどの規定 1 手続きのあらまし 2 手続きに関する機関 3 着工前の手続き ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 法手続きにかかわる諸機関のあらましと、建築主事の役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 法手続きに関係する諸機関と役割などについて、思考を深め、建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 法手続きに関係する諸機関について関心をもち、手続き規定の学習に役立てようとしている。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 建築の着工前における手続きや確認申請を必要とする建築物の判別方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 建築の着工前に必要となる建築確認について思考を深め、建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 建築確認について関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。 定期考査	・指導事項 4 工事中的手続き 5 使用中の手続き 6 違反建築物などに対する ・教材:教科書 建築法規 副教材 建築基準法令集 補助教材 2級建築施工管理技士テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 建築物の工事中や工事完了時および使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置のあらましなどを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物の工事中や工事完了時および使用中の各種手続きや違反建築物に対する措置の必要性について思考を深め、建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物の工事中・工事完了時・使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置について関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	6
				○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和8年度

教科 工業

科目 建築施工

教 科：工業

科 目：建築施工

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

教科担当者：（ 4 組：佐藤裕

使用教科書：（ 建築施工 実教出版

教科 工業

- の目標：
- 【知識及び技能】

工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】

工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】

工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 建築施工			の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築工事に関する各種の工法、工事管理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解している。		建築物の施工に関する課題を見いだし、各分野の知識・技術を活用して、科学的な根拠に基づき思考・判断し、その解決策を的確に表現する能力を身につけている。	建築施工の各分野に興味・関心をもち、環境に配慮した安全で快適な建築物を施工する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 第2章 工事の準備 【知識及び技能】 仮設工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、仮設工事の必要性と各種の方法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、仮設工事の必要性と各種の方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 仮設工事の基礎的な知識と技術について関心を持ち、仮設工事の必要性と各種の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第2章 工事の準備 1節 地盤と敷地の調査・確認 2節 仮設工事 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 仮設工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、仮設工事の必要性と各種の方法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、仮設工事の必要性と各種の方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 仮設工事の基礎的な知識と技術について関心を持ち、仮設工事の必要性と各種の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	12
	単元 第2章 地面から下の工事 【知識及び技能】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、土工事および杭・地業工事の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、土工事および杭・地業工事の概要を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、土工事および杭・地業工事の概要の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第2章 地面から下の工事 一 土工事および杭・地業工事 1節 土工事および杭・地業工事の種類と流れ 2節 土工事・山留め 3節 杭工事 4節 地業工事 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、土工事および杭・地業工事の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、土工事および杭・地業工事の概要を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、土工事および杭・地業工事の概要の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○		○	12
	定期考査						1
	単元 第3章 木構造の工事 【知識及び技能】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第3章 木構造の工事 1節 基礎 2節 在来工法の骨組 3節 枠組壁工法の躯体 4節 外部仕上げ 5節 内部仕上げ ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○		○	12
	定期考査						1

2 学 期	単元 第4章 鉄筋コンクリート構造の工事 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工事の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工事について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工事の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第4章 鉄筋コンクリート構造の工事 1節 鉄筋コンクリート工事 2節 基礎 3節 躯体 4節 外部仕上げ 5節 内部仕上げ ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工事の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工事について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工事の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○		○	12
	定期考査						1
	単元 第5章 鋼構造の工事 【知識及び技能】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解する。 ○骨組工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第5章 鋼構造の工事 1節 基礎 2節 骨組（柱と梁） 3節 スラブ 4節 耐火被覆 5節 仕上げ ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解している。 ○骨組工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○		○	12
	定期考査						1
3 学 期	第9章 建築工事費の算出－積算－ 【知識及び技能】 積算に関する基礎的な知識と技術を身につけ、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の意義や役割を理解する。 積算に関する基礎的な知識と技術をもとに、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 積算に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第9章 建築工事費の算出－積算－ 1節 積算の基本事項 2節 工事費の構成 3節 積算の方法 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 積算に関する基礎的な知識と技術を身につけ、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の意義や役割を理解している。 積算に関する基礎的な知識と技術をもとに、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 積算に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		合計 70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 工業 科目 測量

教科：工業 科目：測量 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 5 組～ 組

教科担当者：（5組： 幸田 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（工業715 測量 ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 測量	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
「公共測量の作業規定の準則」に基づき、基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。また、建設工事にもなう力学的諸問題に対して、その活用、応用方法を理解させる。	測量における基礎的・基本的な知識と技術を活用して、測る技術を的確に把握し、条件が異なる場合や他の種類の測量に応用して解決できる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	測量が果たす役割や社会的重要性を調べたり、学ぼうとする力を養う。測量学についての知識・技術の習得を目指して、主体的に学習に取り組む姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元「細部測量」 細部測量の方法には、目的や精度によってどのようなものがあるか 細部測量、各種方法の利点	・指導事項 ①細部測量とは ②トータルステーションを用いた細部測量 ③GNSSを用いた細部測量 ④平板測量を用いた細部測量	【知識・技能】 GNSSを用いた測位方式の知識を身につける 【思考・判断・表現】 平板測量にて使用される測量器具の名称・役割を判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元「測量の誤差」 誤差の原因 許容誤差範囲内にある時の誤差の処理方法	・指導事項 ①誤差の種類 ②測定値の計算処理	【知識・技能】 誤差の原因および性質による種類についての知識を身につける 【思考・判断・表現】 最確値や標準偏差を算出することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元「面積および体積」 土木工事における面積および体積の算出	・指導事項 ①面積の計算 ②土量（体積）の計算	【知識・技能】 三角区分法および座標による方法にて面積が求められることについて理解する 【思考・判断・表現】 両端平均断面法による必要土量の算出することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	12

	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元「基準点測量」 設置される基準点の目的 基準点の位置の表示方法	・指導事項 ①基準点と基準点測量 ②基準点測量の測量方法と方式 ③測量計画 ④踏査・選点 ⑤視測 ⑥国土地理院成果表	【知識・技能】 基準点測量の区分と体系について理解する 【思考・判断・表現】 現地を調査（踏査）を行い、適切な位置に選 点する判断ができる 基準点測量に際し適切な測量機器を選定する ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元「河川測量」 河川測量における測量方法 河川測量を行う意義	・指導事項 ①平面測量 ②高低測量 ③流量測定	【知識・技能】 距離標の設置に関する測量および方法につ いて理解する 【思考・判断・表現】 与えられた流水断面積・流速より流量を求め ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元「測量技術の応用と自然災害」 新しい測量技術の社会との関わり 自然災害などに対するの安心・安全 な社会をつくるための測量技術の応 用	・指導事項 ①i-Construction ②GIS（地図情報システム） ③バーチャルリアリティー ④リモートセンシング ⑤測量結果を活用した自然災害対 策	【知識・技能】 i-Constructionの概要と目的についての知識 を身につける 【思考・判断・表現】 GISの構成について理解し、用途について判断 することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

工業 科目 測量

教 科： 工業

科 目： 測量

対象学年組：第 2 学年 5 組～ 組

単位数： 2 単位

教科担当者：（5組： 小栗 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 工業715測量 ）

教科 工業

の目標：

【知 識 及 び 技 能】

工業の各分野の測量に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】

工業技術に関する測量分野の諸問題など適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】

工業技術について測量分野における主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 測量

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「公共測量の作業規定の準則」に基づき、基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。また、建設工事にともなう力学的諸問題に対して、その活用、応用方法を理解させる。	測量における基礎的・基本的な知識と技術を活用して、測る技術を的確に把握し、条件が異なる場合や他の種類の測量に応用して解決できる能力を養う。	測量が果たす役割や社会的重要性を調べたり、学ぼうとする力を養う。測量学についての知識・技術の習得を目指して、主体的に学習に取り組む姿勢つける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元（距離測量） 【知識及び技能】 2点間の距離を正確に測る方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 測ったデータをどの様に解析するか判断し、的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 測ったデータを使い、違う測量にどの様にデータを使うか判断し、主体的に学習に取り組む。	・指導事項 距離測量用器具 距離の測定方法 測量機器による測定方法 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 距離測量に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 距離測量用の繊維製巻尺、鋼巻尺、ポール、トータルステーション、GNSSなどの測定器具の機能・特徴を理解し、各測量器具の機能や特徴と測定距離や求められる測定精度に応じて、使用する測量器具を的確に分析・判断して効率的に使用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 距離測量の器具や距離の測定方法に関心を持ち、みずから進んで器具の取り扱いや距離の測定に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 単元（水準測量） 【知識及び技能】 地盤の高低差を正確に測る方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 測ったデータをどの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 測ったデータを使い、違う測量にどの様にデータをに使うか判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 水準測量の用語 水準測量の器械・器具 レベルの検査・調整方法 水準測量の方法 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 距離測量の器具や距離の測定方法に関心を持ち、みずから進んで器具の取り扱いや距離の測定に意欲的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 水準測量の果たす役割を理解し、水準測量の野帳記入や、観測データの整理・計算ができる知識と能力をもっており、観測結果の取り扱い方を具体的に思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 水準測量用のレベルや標尺などに関心を持ち、器具の取り扱い方や測定方法を理解し、その知識と技術を身につけようとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	C 単元（角測量） 【知識及び技能】 多角形の角度を正確に測る方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 測ったデータをどの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 測ったデータを使い、違う測量にどの様にデータをに使うか判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 角測量と測角機器 測量器械の構造 すえつけと視準の方法 検査と調整 角度の観測 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 角測量に関する学習や測量実習を通して、角測量に関する基本的な知識、概念を理解している。 【思考・判断・表現】 各種の形をした土地の面積や土量を求める測量方法および計算のしかたに関心をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 境界で囲まれた土地の面積を求める方法や数学的な原理との関連に関心を持ち、みずから進んで面積の計算方法を理解し、面積の計算に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考查			○	○		1

2 学 期	D 単元（トラバース測量） 【知識及び技能】 角測量、距離測量から求めたデータを使い、座標展開していく方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 測ったデータをどの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 測ったデータを使い、違う測量にどの様にデータをに使うか判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 概要 トータルステーションシステム 外業 内業 結合トラバースの計算 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 トラバース測量の外業として、適切な精度を有する距離測量や角測量を行うことができる。 【思考・判断・表現】 セオドライトやトータルステーションなどの測量器具の役割を理解し、各器具の使用方法に関して、具体的に判断しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 トラバース測量に関して関心をもち、この測量には距離測量と角測量の総合的な概念が必要であることを意欲的に探求しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	D 単元（トラバース測量） 【知識及び技能】 角測量、距離測量から求めたデータを使い、座標展開していく方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 測ったデータをどの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 測ったデータを使い、違う測量にどの様にデータをに使うか判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 結合トラバースの計算 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 閉合トラバース測量や結合トラバース測量における角誤差の算定、角誤差の調整の手順を正しく理解している。方位角、方向角を正しく理解し、方位角、緯距および経距の計算などの計算手順を理解している。 【思考・判断・表現】 トラバース測量の計算結果を適切な計算表にまとめ成果図面を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 セオドライトやトータルステーションなどを利用した測量技術に関心をもち、みずから進んでそれらの器具を使って、意欲的に距離や角の測定に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	E 単元（路線測量） 【知識及び技能】 路線を計画するうえで平面、縦断、横断面を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 路線計画で求めた数値データをどの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 路線計画で求めた数値データをどの様に使うか判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 路線の曲線分類 単心曲線の設置 緩和曲線の測設 銃弾曲線の測設 道路の測量 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 路線測量における単心曲線・緩和曲線・縦断曲線などの設置に必要な用語・記号・図などに関する知識をもち、路線測量に関する基本的な内容を理解し、計算手順や曲線の設置方法、設置手順などを身につけている。 【思考・判断・表現】 平面線形について正しく理解し、単心曲線について、諸計算の進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できる。縦断曲線に関する諸計算の進め方や測設方法などについて正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道路設計や建設に必要な路線測量に関する技術や計算方法に関心をもち、道路設計に必要な平面線形や縦断線形の記号、計算手順、測設手順を意欲的に習得しようとする心がまえや態度を身につけようとしている。	○	○	○	8
3 学 期	定期考査			○	○		1
	F 単元（地形測量） 【知識及び技能】 地形図から平面、縦断、横断面を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 地形図を使い、どの様に解析するか判断しえ方を的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 地形図をどの様な分野で使えるか総合的に判断し、主体的に学習に取り組む	・指導事項 地形図と数値地形図データ 地形測量 現地測量と等高線 地形図の活用 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 地形測量における測量方法と概略高低を正しく理解し、地性線、地形や等高線の測定方法などの地形測量に必要なデータの取得方法および基本的な測量技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 地形測量における地形・地物の描き方や、等高線の性質を理解し、等高線を迅速かつ正確に描く能力を身につけ、報告書や図面を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形測量に関する測量技術に関心をもち、地形測量用の各器具の使用上の役割を具体的に判断し、みずから進んでそれらの器具を使って、意欲的に地形測量に取り組もうとする心がまえや態度を身につけようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 工業 科目 土木施工

教科：工業 科目：土木施工 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 5 組～ 組

教科担当者：（5組：幸田 （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（工業750 土木施工 ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 土木施工	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
建設業法や施工技術の管理項目と倫理を学び、安全に施工する基礎、基本の技術を習得する。	構造物を環境に配慮しながら、工程に従って安全に作り出す施工管理技術を、法規の知識とともに活用できる。
	【学びに向かう力、人間性等】
	身近な土木工事や工作物を具体的に理解し、材料の扱い方の発展を図る意欲的な態度を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「土木施工」を学ぶにあたって ①社会基盤と土木工事 ②土木遺産と伝統技術 ③新技術の動向	・指導事項 土木工事の特徴・歴史的土木構造物やこれからの土木技術を簡潔にまとめる	【知識・技能】 要点を簡潔にまとめる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○		○	4
	単元「土木材料」 ①規格 ②土・岩石 ③木材 ④鉄鋼材料 ⑤瀝青材料 ⑥高分子材料 単元「土工」 ①土工計画 ②土工機械	・指導事項 土木構造物に使用される様々な材料について簡潔にまとめる 土工の種類・作業の種類に伴う土工機械の選択についての説明	【知識・技能】 土木材料についての理解、土工機械の名称や土工の種類知識を身につける 【思考・判断・表現】 日本の規格・国際規格の判断することができる 土工作業において適切な機会を判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元「土工」 ③機械化土工の計画 ④土工の実施	・指導事項 現場の作業条件に考慮して、作業能力を算定し、工程や工費を導き出す 基本となる土木工事及び法面保護工についての作業内容や方法を簡潔にまとめる	【知識・技能】 各土工機械の作業能力の算定式の理解、掘削工・運搬工・盛土工等の工事についての理解・種類を身につける 【思考・判断・表現】 各土工機械の作業量を計算し、組合せでの所要台数を算出することができる 各工事における工法を判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	7
	単元「コンクリート工」 ①コンクリート用材料 ②コンクリートの性質	・指導事項 使用材料の種類、その特徴についておよびフレッシュコンクリート・硬化コンクリートのそれぞれの性質について要点を簡潔にまとめる	【知識・技能】 コンクリートを作成するのに使用する材料、各状態におけるコンクリートの性質を理解している 【思考・判断・表現】 現場にあったコンクリートを選定することができる 使用材料も判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6

	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元「コンクリート工」 ③コンクリートの配合設計 ④コンクリートの製造と施工 ⑤各種のコンクリートとコンクリート製品	・指導事項 コンクリートを作成するうえで必要な材料の割合を計算する方法を指導する 製造方法・運搬方法・打込み等の施工についての内容を解説する 特殊条件化で使用するコンクリートの説明	【知識・技能】 暫定配合の計算方法の理解、製造から運搬・打込みまでの時間、1回あたりの打込み高さの知識を身につける 【思考・判断・表現】 与えられた条件の下で配合計算により、各種材料の質量を求めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元「基礎工」 ①基礎工 ②直接基礎工 ③杭基礎工 ④ケーソン基礎工 ⑤地盤の改良工	・指導事項 基礎工の種類、基礎工の掘削を簡潔にまとめる 地盤改良の種類、使用目的を解説する	【知識・技能】 各種基礎工の工法の理解 【思考・判断・表現】 軟弱な地盤において適切な改良工法を選択できる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
学	単元「舗装工」 ①アスファルト舗装 ②コンクリート舗装 ③舗装の維持・修繕	・指導事項 舗装の構造を解説、状況に応じた舗装材料の選択を解説する	【知識・技能】 各種舗装の構造および役割についての知識を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○		○	19
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 工業 科目 選択土木施工

教科：工業 科目：選択土木施工 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 5 組～ 組

教科担当者：（5組：幸田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（工業750 土木施工 ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 選択土木施工 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
施工技術の管理項目と倫理を学び、安全に施工する基礎、基本の技術を習得する。	構造物を環境に配慮しながら、工程に従って安全に作り出す施工管理技術を、法規の知識とともに活用できる。	身近な土木工事や工作物を具体的に理解し、材料の扱い方の発展を図る意欲的な態度を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「施工管理」 ①測量 ②施工計画 ③工程管理・工程計画	・指導事項 水準測量の計算方法 建設機械ごとの算定式を表にする など工夫する 工程管理手順を図で表記し理解し やすいようにする	【知識・技能】 施工計画の手順の知識を身につける 【思考・判断・表現】 昇降式・器高式の水準測量の計算にて地盤高 の値を算出することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	5
	単元「施工管理」 ④安全管理 ⑤品質管理 ⑥建設機械	・指導事項 統括安全衛生管理者と統括安全衛生責任者の違いを理解する 足場・高所作業の安全性を簡潔にまとめる 各建設機械の特徴と利用用途を簡潔にまとめる	【知識・技能】 品質管理の目的、手順の知識を身につける 【思考・判断・表現】 作業の種類と該当する建設機械を適切に判断 できる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元「法規」 ①労働基準法 ②労働安全衛生法 ③建設業法 ④道路法・道路交通法	・指導事項 労働基準法の基本原則について理解する 計画の届出を必要とする仕事を簡潔にまとめる 道路の占用と使用について理解する	【知識・技能】 就業規則、女性・年少者の就業制限等の知識を身につける 【思考・判断・表現】 車両の幅等の最高限度を判断できる 主任技術者と監理技術者の職務の違いを理解 できる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6
	単元「法規」 ⑤河川法 ⑥建築基準法 ⑦火薬類取締法	・指導事項 河川・河川管理施設および河川管理者について種類を理解する 建築物の定義を簡潔にまとめる 火薬類の取り扱いにおける注意点について確実に理解する	【知識・技能】 河川法の目的についての知識を身につける 【思考・判断・表現】 火薬類の貯蔵方法、許可・届出について判断 することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	6

	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元「法規」 ⑧騒音規制法 ⑨振動規制法 ⑩港則法	・指導事項 騒音規制と振動規制の基準音量の 区別について理解する 両規制法に関する基準に適合しな い場合の改善勧告について簡潔に まとめる 港湾内における留意点について理 解する	【知識・技能】 航路・航法についての知識を身につける 【思考・判断・表現】 両規制法の特定建設作業の条件を判断するこ とができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元「専門土木」 ①コンクリート構造物 ②河川 ③砂防 ④道路	・指導事項 鉄筋コンクリート構造物の施工の 要所を理解する 河川断面および堤防断面の名称を 理解する 舗装の構造を図解により簡潔にま とめる	【知識・技能】 堤防断面の名称・舗装の構造についての知識 を身につける 【思考・判断・表現】 砂防対策として抑制工と抑止工との違いを判 断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元「専門土木」 ⑤ダム ⑥海岸・港湾 ⑦トンネル ⑧鉄道 ⑨地下構造物	・指導事項 ダムの構造による分類を理解する 海象・海岸堤防・浸食対策工につ いて簡潔にまとめる 線路の構造と役割について理解す る	【知識・技能】 ダムの構造と名称についての知識を身につけ る 【思考・判断・表現】 トンネル掘削方式の種類と特徴を判断するこ とができる 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して学習に取り組んでいる	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

総合工科

高等学校

令和8年度

（3学年用）

教科

工業

科目

製図

教科：工業

科目：製図

単位数：3単位

対象学年組：第3学年5組～組

教科担当者：（5組：幸田、小栗）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（工業706土木製図）

教科工業

の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ものづくりにおける製図の意義や役割を理解し、土木製図に関する各分野の基礎的な知識と技術を理解し身に付けている。 土木製図に関する、基本的な技能・技術を身に付け、図面の内容を理解するとともに、製図を正確・明りょう・迅速にかくことができる。	土木製図に関する基礎的な知識と技術をもとに、製図に関する諸問題を自ら思考を深め、創意くふうし適切に処理することができる。	土木製図に関する知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、活用しようとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第3章 測量製図 1. 路線設計 ・製図は等高線図に基づいて路線計画を行い平面図を作成する。 【知識及び技能】 路線設計の重要性について理解している。製図は規格に基づいてかくことを理解し、実際に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図、図面、製図の意味や、製図における規格について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・指導事項 第3章 測量製図 1. 路線設計 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 路線設計の重要性について理解している。製図は規格に基づいてかくことを理解し、実際に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図、図面、製図の意味や、製図における規格について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	○		○	9
	2. 平面図 ・平面図より地盤高計算を行う。 【知識及び技能】 平面線形について正しく理解し、単心曲線について、諸計算の進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できる 【学びに向かう力、人間性等】 平面線形について正しく理解し、単心曲線について、諸計算の進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できる	・指導事項 2. 平面図を作成する ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 平面線形について正しく理解し、単心曲線について、諸計算の進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できる路線の設計に関する知識をさらに深め、地形図から路線の概略設計をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面線形について正しく理解し、単心曲線について、諸計算の進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できるの進め方や測設方法、誤差の取り扱いなどに関して判断できる平面設計、縦断設計、横断設計、土量計算を順序だててできるよう取り組ませる。	○	○	○	9
	第5章 CADによる製図 1. CADの概要 CADの利点について理解し、CADシステムのハードウェアとソフトウェアに関する知識を身に付けている。 【知識及び技能】 CADシステムの必要性をじゅうぶん理解し、実際に活用することを念頭において学習している。 【思考力、判断力、表現力等】 CADソフトをじゅうぶん理解し、実際に活用することを念頭において学習している。 【学びに向かう力、人間性等】 CADソフト活用し理解して取り組む。	・指導事項 CAD ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 手書きによる製図とCADによる製図の違いをよく理解し、CADによる製図の利点を適切に表現することができる。 【思考・判断・表現】 線の優先順位や接続・交差の仕方について、創意くふうし適切に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 CADに関する製図に関心を持ち、CADシステムのハードウェアとソフトウェアに関する知識の習得に向けて意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	9

	2. CADシステム利用の基礎 CADソフトウェアの基本的な機能とCAD製図の規定に関する知識を身に付けている。CADソフトウェアの基本的な機能を理解し、的確に操作して作図することができる。 【知識及び技能】 CADソフトウェアの基本的な機能を理解し、的確に操作して作図することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 CADソフトウェアの有効活用について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 簡単な土木構造物をCADを利用し完成させる。	・指導事項 CAD ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 CADシステムは設計製図を支援する道具であることを理解する。 【思考・判断・表現】 CADシステムの有効活用について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 CADに関する製図に関心を持ち、CADソフトウェアの基本的な機能を用いて、課題の作図に意欲的に取り組んでいる	○	○	○	9
--	--	-------------------------------------	--	---	---	---	---

2 学 期	第3章 測量製図 3. 縦断面図 【知識及び技能】 縦断面図に関する諸計算の進め方や測設方法などについて正しく判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自のデータで縦断面図の記号、計算手順、測設手順を意欲的に習得しようとする心がまえや態度を身につけようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 各自のデータで縦断面図の記号、計算手順、測設手順を理解し、図面を完成させる。	- 指導事項 5. 平面図形のかき方 - 一人1台端末の活用	【知識・技能】 平面図形の基本的な作図方法について理解している。 【思考・判断・表現】 平面図形の作図方法の知識をもとに、応用して作図することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図形の作図方法に関心を持ち、正確にかく努力をしている。	○	○	○	12
	4. 横断面図 【知識及び技能】 横断面図に関する諸計算の進め方や測設方法などについて正しく判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自のデータで横断面図の記号、計算手順、測設手順を意欲的に習得しようとする心がまえや態度を身につけようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 各自のデータで横断面図の記号、計算手順、測設手順を理解し、図面を完成させる。	- 指導事項 4. 横断面図 - 一人1台端末の活用	【知識・技能】 実際の長さから、縮尺された図面上の長さを計算できる。 【思考・判断・表現】 対象物の複雑さと表現する目的に応じた尺度を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 尺度の表し方と尺度の選択の仕方について意欲的に学習している。	○	○	○	12
	第5章 CADによる製図 3. CADシステムを用いた製図の基本。土木構造物 ボックスカルバート配筋図 【知識及び技能】 鉄筋の表示方法および鉄筋加工図、コンクリート構造物の一般図・構造図・詳細図のかき方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ボックスカルバートの図面から鉄筋加工表を作成することができるとともにプレストレストコンクリートについても調べている。 【学びに向かう力、人間性等】 ボックスカルバートに関心を持ち、規定を熱心に学習し、コンクリート構造物の製図に意欲的に取り組んでいる。	- 指導事項 - ボックスカルバートの構造を理解させる - 一人1台端末の活用	【知識・技能】 寸法記入要素・寸法数値の記入方法・寸法補助記号について理解している。 【思考・判断・表現】 汎用CADシステムの作図機能に関心を持つ 【主体的に学習に取り組む態度】 汎用CADシステムの作図機能に関心を持ち、意欲的に学習している。	○	○	○	12
	3. 土木構造物 CADシステムを用いた製図の基本。土木構造物H鋼橋梁図 【知識及び技能】 鋼材・ボルト・溶接の表示、鋼橋の一般図・構造図・詳細図のかき方について理解している。鋼橋の一般図・構造図・詳細図を規定に従って正確にかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 H鋼橋梁図の図面からその構造物に使用される各種の材料を算出し、材料表を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 H鋼橋梁図に関心を持ち、規定を熱心に学習し、鋼橋などの鋼構造物の製図に意欲的に取り組んでいる。	- 指導事項 - H鋼橋梁図の構造を理解させる - 一人1台端末の活用	【知識・技能】 寸法記入要素・寸法数値の記入方法・寸法補助記号について理解している。鋼材・ボルト・溶接の表示、鋼橋の一般図・構造図・詳細図のかき方について理解している。鋼橋の一般図・構造図・詳細図を規定に従って正確にかくことができる。 【思考・判断・表現】 汎用CADシステムの作図機能に関心を持つ。H鋼橋梁図の図面からその構造物に使用される各種の材料を算出し、材料表を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 汎用CADシステムの作図機能に関心を持ち、意欲的に学習している。H鋼橋梁図に関心を持ち、規定を熱心に学習し、鋼橋などの鋼構造物の製図に意欲的に取り組んでいる。	○		○	12

総合工科 高等学校 令和8年度 教科

工業 科目 製図（選択）

教科：工業 科目：製図

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 4組

教科担当者：（4組：佐藤裕）

使用教科書：（建築設計製図 実教出版）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】 工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 製図（選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1・2 学期	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ・ワンルームマンション模型製作 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	55
3 学期	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につける。	・指導事項 ・教材:教科書 建築設計製図 2級建築士製図テキスト ・店舗模型製作 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 実技課題に取り組み、課題に対応する方法や技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 実技課題に取り組み、課題に対する思考・判断する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 実技課題に取り組み、課題に対して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	15
							合計
							70